

令和7年度 PTA 壁新聞

先輩の話を聞く会

当校中・高卒業生である(株)伊藤塗装代表取締役社長 伊藤拓矢様にご講演いただきました。

講演では、幼少期から中学部へ入学すること、中学部での思い出や学んだこと、卒業後、働き始めてから社長として働く現在のことまで、たくさんのエピソードを交えながらお話いただきました。

講演の中で繰り返し伝えてくださった「感謝すること」「あきらめないこと」「自信をもつこと」等のメッセージを受けとめ、生徒たちからは「ありがとう」と感謝の気持ちを込めて「苦しいことにもあきらめずに取り組む」「学校生活を見守ってほしい」と、自分ができることからやろうとする感想が聞かれました。

なお、伊藤様には、移動型図書館として使用している「ブックトラック2台」を昨年度寄贈していただきました。

先輩の話を聞く会の様子



講演をする伊藤氏



保護者と一組に中・高部の生徒が講話をききました。

作業製品販売のお知らせ

高等部2組、3組には毎週2日間(各日3時間)の作業学習とよばれる時間があります。主に、レジン製品・布製品・タブレット端末を使った名刺等を制作しています。自分の興味のあることを作業学習に取り入れることで、個々の特性や強みを生かした学習が可能となり、より豊かな学びの経験につながっています。

<作業製品販売会>

日にち:令和8年2月(予定)

場所:長良園芸様にて

※ながらドリームアート展の一環で開催します。

作業学習の様子



レジン製品を作る様子

ハーバリウムボールペンを作る様子

作業製品紹介



素材 100円

ペーパーウェイト ネコ 300円

ボールペン 300円

レジンアクセサリー 各300円

レジンミニアルバム 300円

eスポーツ大会の様子



競技の様子(たいこセツ)



児童生徒による選手監督



棒スイッチでiPadを操作する様子

eスポーツ大会

7月2日(水)に、eスポーツ大会が開催されました。①プロロ(自作プログラムによるロボット相撲)、②Luckey Draw(ガラガラ抽選ゲーム)、③たいこセツ(リズムゲーム)、④どうぶつタワーバトル(積み上げるゲーム)の中から、自分がやりたいものを選んで対戦しました。学部や学年を超えて正々堂々と戦ったり、仲間を応援したりして楽しみました。

がっこうしょうかい 学校紹介

長良特別支援学校は、県内唯一の病弱教育単一の特別支援学校です。医療的ケアを必要とする児童生徒が多く在籍し、小学部・中学部・高等部の児童生徒が学校へ通ったり、長良医療センターや岐阜県総合医療センター「すこやか」や自宅を訪問教育を受けたりして、それぞれの学習に取り組んでいます。



ふれあいの日

ふれあいの日が、7月5日(土)に開催されました。今年は、ヴァイオリニストで音楽療法士である、濱島 秀行氏をお迎えしました。テレビアニメでお馴染みの曲や児童生徒のリクエスト曲を聴きました。会場のみんなが一体となって楽しむことができました。

ふれあいの日の様子



PTA会長の話



濱島氏によるヴァイオリン演奏



職員による

子供たちのスライドショー

BGM

長良特別支援学校PTA



先輩保護者と語る会

重症心身障がい、在宅介護センター「あらい」の加藤様、「あらい」の活動の写真を、また、岐阜希望が丘特別支援学校卒業生保護者の新田様からは、重症心身障がいの生徒の卒業後の生活についてのお話を伺いました。

新田様からは、現在お子様が多くのサービスを利用し、毎日学校中と同じくらい楽しく充実した日々を送っていることと、卒業後の進路を決定する際のアドバイスだけでなく、障害年金や障害者年金生活者支援給付金や特別障害者手当の申請の際には、生まれてから現在までの入院・手術等の詳細な記録を文章で添付が必要あり、今のうちからそのついでに情報の整理をしておくというアドバイスをいただきました。

何より重要なことは、子どもの障がいを理解し、必要な支援について一緒に考えてくれる相談支援専門員さんを出発だけ早く見つけ、その方と一緒に丁寧な相談しながらサービスを決定していくことだそうです。保護者も、大変盛り上がり美の多い時間となりました。

先輩保護者と語る会の様子



図書室にて講話をききました。

子供達のスライドショー
素敵でした。あらいの曲も
ピアノで最高でした。
ヴァイオリン演奏も、生で聴けるのが
機会がなかったので感動しました。
息子も私も、リクエスト曲を聴いて
ありがとうございました。

感謝

初めての「ふれあいの日」
息子と一緒に参加できてとても楽しかったです
音楽が大好きな息子君、真摯な気持ちで
鑑賞していただき、140分間のコンサート
の音楽が聞けてうれしかったです
みんなで「おめでとう」
と拍手を送り、最後「ありがとう」と思っています。

感謝